

眼球が
動かない方にも
対応可能。

Yes と No で意志伝達

新方式

ALS 患者の 意思疎通を サポート。

※写真はイメージです

日常の
やり取りが
スムーズに!

01

対応の範囲

瞳孔反応から検知するので眼球運動が無くとも検知可能

02

かんたん使用

メガネ型のセンサを装着してモニターを見るだけなので使い方が簡単。モニターが見えていれば頭部位置はある程度自由

03

信頼性が高い

瞳孔反応は脳波や血流に比べてノイズが少ない

04

準備が不要

個人差の少ない瞳孔反応を利用するため、事前設定が不要

最先端技術を適用

- 東京工業大学との共同研究
特許情報：
 - ・特願 2017-096142
(2017年5月15日東京工業大学出願)
 - ・特許第 5765740 号
(2012年5月21日東京工業大学出願)
- Microsoft 社の AI for Accessibility を受賞!

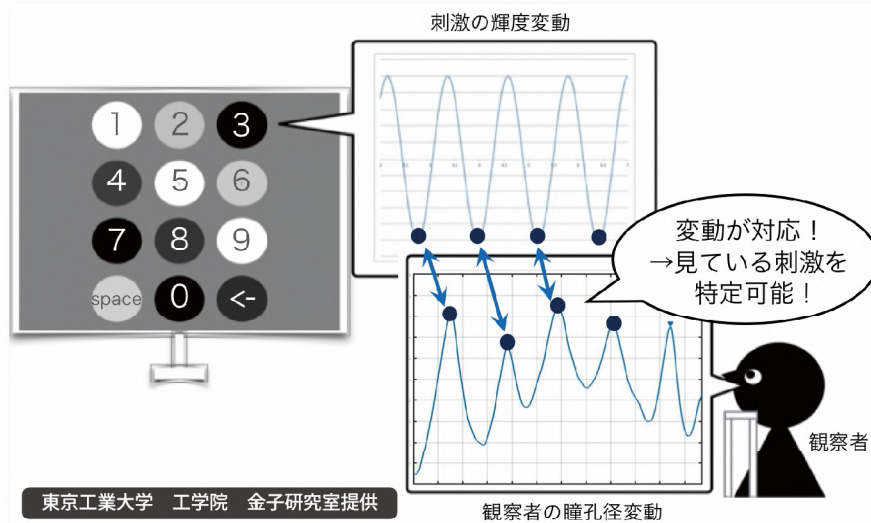
従来のカメラによる眼球位置特定による入力装置に比べ入力の安定度が高く、頭部位置の自由度が大きいというメリットがあります。

メガネ型のセンサを用いて瞳孔反応を検出し、意思伝達を行います。



新技術の原理

複数の注視対象がある場合、瞳孔は意識を向けている対象に対して反応します。その生体反応を利用して、意識を向けた対象の輝度変動と瞳孔径変動の対応を利用して情報を入力します。例えば、文字盤の「1」の輝度の変動のタイミングと、それを見ている観察者の瞳孔径の変動のタイミングの一致から「1」を見ていると判断することができます。



対象者と利用シーン

Target person & Usage scene

対象者



手足が自由に動かせない方



言葉が発せない方



眼球が動かない方

利用シーン



● 重度障害者のための意思情報伝達



補装具費支給対象として申請予定

本製品は Pupil Labs 製品・技術を使用しています

Powered by Pupil Labs

問い合わせ先

株式会社 コマス Tel : 045-477-3322

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-7-18 日総第 18 ビル 3 階

価格や購入方法の詳細につきましては HP をご確認ください。

